

題「遠い」 弘兼 秀子 選

特選

胸を衝く戦禍の街に遠い春

広島市 正山 史明

【評】連日放映される戦禍のニュースは見るに忍びない。終りの見えぬ現状へ、ただただ祈るばかりだ。

今が消え遠い昔に生きる父

呉市 野高 善子

【評】元気で働き者であった父の変化に、とまどう日々だった。今は全てを受け入れ見守っている家族が見える。

どしゃぶりを歩いた遠い日の靴よ

東広島市 渡辺 典子

【評】辛く苦しい時のことを「どしゃぶり」と表現した。共に耐え乗り越えて来た靴を「よ」と称える。

雨のあとがき遠雷を聞きながら

広島市 福田 淳子

【評】 かつてない雷雨の不安な夜が明けた。通り過ぎて尚「遠雷」がその恐ろしさを思い出させている。

望郷に聞こえる遠い日の汽笛

広島市 松本壽賀子

【評】 ふるさとを思う。美しくのどかな風景の中に、心あたたかな人達の姿が浮かんでくる。汽笛もなつかしく響く。

入
選

海ひとつ隔てただけの遠い国

福山市 村田 幸夫

遠まわりあなたに会うためでした

東広島市 池田久美子

限りなく遠いが亀はあきらめぬ

福山市 石井小魚二

折り合えず妥協の道が遠ざかる

広島市 大杉 綾子

離れても見上げた空は同じ青

広島市 上田 智世

遠花火あの世この世の声と聴く

世羅郡世羅町 高本 澄江

遠い日の想い出抱きする介護

広島市 齋藤千恵美

耳朵に棲む遠いあの日の祭り笛

尾道市 前中 吾一

廃線のふるさとがまた遠くなる

福山市 竹村 丙喜

コンニチワ遠い星から来た曾孫

三原市 吉永 団風

墓掃除遠いあの日も暑い夏

福山市 貝原 辰二

遠ざかる記憶を辿る人生譜

広島市 大杉 卓雄

目標へ遠い位置で躓いてる

広島市 川上 咲良

リハビリのゴールは遠いスケジュール

広島市 岡田 郁枝

満月と結ぶ三角君と僕

呉市 宍戸三喜恵

引き揚げの遠い記憶の敗戦日

廿日市市 粟屋 治

ああ無情遠い本塁無得点

安芸郡府中町 西 和弘

人知れず遠くの海へ泣きに行く

江田島市 住田 照水

手をのばす一人ぼっちの遠い空

広島市 片山 樺菜

憧れを遠く見つめるグラウンド

広島市 河野 祐実